

地域に愛着をもち、主体的に地域のもの・人・ことに関わろうとする生徒の育成

～「ぬまた未来創造学」における探究的な学習の実践を通して～

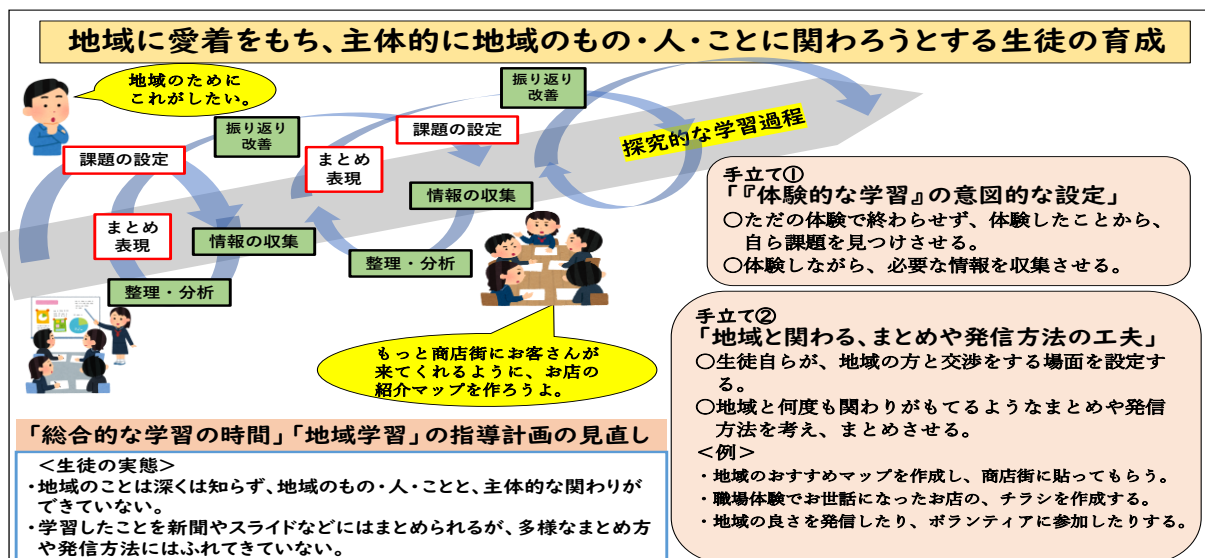
I 主題設定の理由

近年社会は、生産年齢人口の減少、急激な情報化やグローバル化の進展のように加速度的に変化しており、さらには先の新型コロナウイルス感染症の流行などのような予測困難な時代を迎えている。このような時代にある中で、子供たち一人一人が必要な資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けることができるようにすることは私たちの責務である。その実現のために、現行の中学校学習指導要領の「総合的な学習の時間」は、各校の実態等に応じて教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習とすると同時に、探究的な学習や協働的な学習とし、学習活動を発展的に繰り返していくことが重視されている。

さらに沼田市が推進している、「ふるさと学習『ぬまた未来創造学』」では、地域を愛し親しむ心、地域を誇りに思う心を育むことを目指している。「総合的な学習の時間」に地域をフィールドとし、地域と協働し沼田の未来と自分の将来の生き方について考える活動を行っている。しかし、生徒の中には、沼田の祭りやイベントに出かけることはあっても、主体的な関わりをもとうとしなかったり、その趣旨や意図、歴史等をよく知らなかったりするなど、深く関わっていない生徒も多い。また、普段から地域の人とふれ合うことが少なく、挨拶など進んでできている生徒も少ないと感じる。そのため本研究では、まず各校の「総合的な学習の時間」の「地域学習」に関わる指導計画を見直し、「探究的な学習の過程」がより充実するような実践を計画的に行っていく。地域のもの・人・ことと関わる体験的な学習の場を、「課題の設定」や「情報の収集」をする場とし、さらに「まとめ・表現」の過程では、地域とより深い関わりがもてるようにしたいと考え、まとめや表現したことを多様な方法で発信できるよう工夫することとした。このような学習過程を繰り返すことで、地域のもの・人・こととの交流が深まり、生徒の中に地域への親しみや愛着が生まれ、学習が終わった後も主体的にふるさと沼田に関わりをもとうとする心が育まれるのではないかと考えた。以上のことから、探究的な学習活動を意図的・計画的に実践することで、地域に愛着をもち、主体的に地域のもの・人・ことに関わろうとする生徒が育成できるのではないかと考え、本主題を設定した。

II 研究内容

1 研究構想図



2 授業改善に向けた手立て



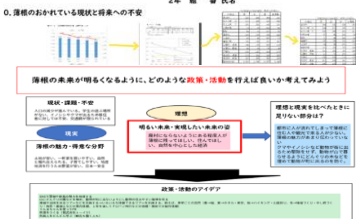


本研究では、「総合的な学習の時間」における「地域学習」の指導計画を見直すなかで、以下の手立てを講じ、地域に愛着をもち、主体的に地域のもの・人・ことと関わろうとする生徒の育成を図る。

【手立て1】 「体験的な学習」の意図的な設定

【手立て2】 地域と関わる、まとめや発信方法の工夫

【手立て1】 「体験的な学習」の意図的な設定

各校のこれまでの「地域学習」では、生徒が「体験すること」自体が重要視され、地域との双方向の関係づくりとなる学習過程として計画されていないことが多かった。そこで本研究では、「体験的な学習」の場を意図的に設定し、体験しながら自ら課題を見つける「課題設定の場」としたり、体験しながら「情報を収集する場」にしたりすることとした。それを「整理・分析」し、自分たちが地域のために何ができるか考え、地域とのやりとりを繰り返しながら「まとめ・表現」での発信方法を工夫していく。そして「振り返り・改善」をする、という「探究的な学習過程」となるように各校の指導計画の見直しを図っていく。このように「体験的な学習」を意図的に設定することで、より一層「探究的な学習」が充実し、地域との連携や協働的な関係づくりができるのではと考えた。

沼田南中学校 1年	薄根中学校 2年	白沢中学校 2年
<p>○体験的な学習 「沼田歴史ウォーク」</p>  <p>課題設定</p>	<p>○体験的な学習 職場体験学習</p>  <p>課題設定</p>  <p>情報収集</p>	<p>○体験的な学習 職場体験学習</p>  <p>課題設定</p>  <p>情報収集</p>

【手立て2】 地域と関わる、まとめや発信方法の工夫

探究的な学習の過程の「まとめ・表現」の場面で、各校のこれまでの学習では、体験学習で学んだことを新聞やスライドにまとめ、学習発表会を開く、というまとめをしてきたことが多かった。そこで本研究では【手立て1】で考えた地域のために自分たちができることなどを、「まとめ・表現」の過程で、地域と繰り返し関わっていけるような発信の方法に工夫し、意図的に地域と関わる活動にしていく。地域の人たちとの交渉などでもできるだけ生徒自身が行い、地域の方との交流を繰り返す中で、地域の困り感に寄り添い、地域の役に立てる喜びを実感できるような学習としていきたい。こうした学習を行うことで、地域に愛着をもち、将来にわたって主体的に地域のもの・人・ことに関わろうとする生徒が育成できるのではないかと考えた。



図3 事業所へ電話をし、インタビュー



図4 生徒の作成物

【单元全体を通して】

- ・生徒の話や生活記録ノートから、生徒が地域の行事やイベントに進んで参加している様子が多く見られるようになった。
- ・職場体験学習でお世話になった事業所に、家族や友達を連れて出かけている生徒も多くおり、事業所の方に喜んでもらえたり、町探検をした小学生に喜んでもらえたりと、相手に喜んでもらえることで達成感や次の学習への意欲につながった。
- ・自分が調べた以外のテーマや自分がお世話になった事業所以外の事業所にも興味をもち、進んで関わろうとする姿が見られた。

〈アンケート比較〉

活動前（6月）	活動後（12月）
<p>将来、沼田に住みたいと考えていますか？</p>	<p>将来、沼田に住みたいと考えていますか？</p>
<p>地域の行事に参加したことがありますか？（地域：自分の住む町や地区のこと）</p>	<p>地域の行事に参加したことがありますか？（地域：自分の住む町や地区のこと）</p>

- ・「将来、沼田に住みたいと考えていますか？」という問いに対しては、12月の結果を見ると、「はい」と回答した生徒は減っている。しかし「いいえ」と回答した生徒も減っており「わからない」と回答している生徒が増えていることから、将来沼田に住むことも視野に入れ始めている、または迷っている生徒もいるのではないかと考えられる。
- ・「地域の行事に参加したことがありますか？」という問いでは、「はい」と回答した生徒がかなり増えた。どんな行事に参加したかも回答してもらったのだが、沼田祭りだけでなく、さまざまなイベントや地域の行事に参加していることが分かった。

〈生徒の感想〉

- ・沼田には、イオンとかがなくても祭りや飲食店など自慢できることがたくさんあった。
- ・沼田をこれ以上知ることができるのかと思っていました。まだ知らないことがたくさんあって総合の時間が楽しかったです。また、沼田小学校の子たちと仲良くなれてうれしかったです。
- ・地域のことについて知ることができた。沼田の良いところはたくさんあるし、沼田にはたくさん行事があることを知った。
- ・伝統的な行事などに参加することは素晴らしいことだと思いました。
- ・沼田まつりの歴史や沼田の魅力を見つけたりして沼田のことを大事にしたいと思いました。自然を大切にしたいと思いました。
- ・いろいろな人やいろいろな事に出会えてよかったです。
- ・沼田のことをよく知ることができて、地域の人と関わる時間ができてよかったし、いい勉強になった。

2 課題

【手立て1】「体験的な学習」の意図的な設定

- ・特に、2年生の「職場体験学習」を「ぬまた未来創造学」としての要素を組み入れた学習にしたことで、本来の「職場体験学習」の意義を十分に踏まえた学習にできたかが、疑問が残る。学習活動の精選やすり合わせが必要であるように感じる。
- ・「職場体験学習」では、「ぬまた未来創造学」の学習につなげるのが難しい事業所もあり、生徒の将来就きたい職業に関連する事業所に行けない場合もあった。

【手立て2】地域と関わる、まとめや発信方法の工夫

- ・電話連絡のやりとりは何度かできたが、事業所の方の意図することが理解できなかつたり、生徒側の考えが伝わらなかつたりして、電話でのやりとりの限界を感じた。作成物を見ながらのやりとりができればよかったが、事業所に行く時間の確保が難しいと感じた。

【単元全体を通して】

- ・「総合的な学習の時間」という限られた時間の中で、どのようにして「ぬまた未来創造学」の学習を組み込んでいくか、年間指導計画を工夫して立てていく必要がある。
- ・地域の人との関わりが、まだ限定的であるので、今後交流する回数を増やしていけば、地域の人への挨拶や声かけなどが進んでできるようになり、より親しみをもって地域と関われるようになるのではと考えられる。
- ・活動が生徒側だけの自己満足で終わらせないために、地域の人たちにも喜んでもらえるような双方の満足のいく活動となるよう、さらなる連携や工夫をしていく必要がある。

IV 研究の実践

実践例 1 1年 総合的な学習の時間

沼田市立沼田南中学校 教諭 津久井仁美

1 単元名 「ガイドブックを作って、小学生へプレゼントしよう！」

2 単元の目標及び生徒の実態

単元の目標	沼田市の歴史や文化に関する体験学習や自分のテーマに関する調べ学習、またそれをまとめ、発信する学習を通して、沼田の歴史や文化と、それに関わる人々の願いや課題を理解し、自分との関わりについて考え、地域への愛着をもち、地域のもの・人・ことへ主体的に関わることができるようにする。		
生徒の実態	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	沼田市の祭りやイベントなどに出かけている生徒は多いが、その歴史や趣旨などは知らない生徒が多い。	情報を整理して考えることが苦手な生徒もいるが調べたことを新聞にまとめることが得意な生徒もいる。	沼田の歴史・文化について調べ、地域の役に立てることを考えようとしている生徒が多い。

3 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①沼田の歴史・文化を理解し、それに関わる人々の願いや課題と自分との関わりについて気付いている。 ②沼田の歴史・文化とそれに関わる人々の願いや課題と自分との関わりについて、実地調査やインタビューなどを行い調べている。 ③沼田の歴史・文化とそれに関わる人々の願いや課題への理解の高まりは、探究的な学習過程を経て学んできた成果だと実感している。	①「沼田歴史ウォーク」を通して課題を設定し解決の方法を考えている。 ②自分の立てた課題に対して、必要な情報を集める方法や手段を選択し収集している。 ③課題解決に向けて集めた情報を整理・分析している。 ④課題に対する考えや思いを相手や目的に応じてわかりやすくまとめ、表現及び発信している。	①課題の解決に向けて、他者の考えを認めたり、自分のよさに気付いたりしながら、進んで活動に取り組もうとしている。 ②課題の解決に向けて探究的に活動を進める中で、自分と違う考えのよさを生かしながら協働して学び合おうとしている。 ③自分と沼田の歴史や文化、地域の人々とのつながりに気づき、自分たちにできることを見付け、地域の役に立つために活動しようとしている。

4 指導及び評価、ICT活用の計画（全22時間：本時第17時） ※別紙参照

5 探究課題の価値

沼田市は人口約4.6万人で群馬県の北部に位置する自然豊かな都市である。天文元年に沼田氏が居城して以来、明治に至る300有余年の間、真田、本多、黒田、土岐氏の城下町としてさかえた街である。また、毎年8月に行われる沼田祭りをはじめとし、中心部では年間を通して様々なイベントが行われている。しかし、そうしたイベントに参加する生徒は多いものの、その歴史や趣旨、その他の文化的なものなどについてはあまりなじみがないといえる。そうした生徒たちにとって、本課題は、沼田市の歴史や文化を学び、それらに関わる地域の人々との交流を通して、人々の願いや沼田市の課題などに気づき、地域のために役に立ちたいという思いを育むことのできる課題である。そして地域への愛着をもち、将来にわたって積極的に地域のもの・人・ことに関わろうとする気持ちをもたせることができるのではないかと考える。

なお、次年度には職場体験学習で地域の事業所に出かけ、インタビューや職場体験を通して地域と関わり、沼田市の産業や雇用、町おこしを中心に課題を設定し、探究する学習を行うことになっており、継続的、系統的に取り組むことができる探究課題である。

6 授業の実際

(1) ねらい これまでの学習の成果を互いに見せ合い、評価し合う活動を通して、小学生向けの作成物になっているか見直し、よりよいものにまとめられるようにする。

(2) 展開

【★ICT活用に関する事項】




<p>主な学習活動 予想される生徒の意識〔S〕</p>	<p>○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><めあて> 互いの作成物を見せ合って、感想や意見を伝え、小学生にもわかりやすいよいものに直していこう。</p> </div> <p>S：いろいろな意見を言ってもらって、小学生にもわかりやすいものに直していこう。</p>	<p>○話合いの視点がぶれないように、「小学生にもわかりやすく」とはどういうことかポイントをおさせる。</p> <p><ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・難しい漢字はひらがなにするか、ふりがなをふる ・文章はわかりやすいか ・絵や図は見やすいか など
<p>2 グループ同士で、互いの作成物を見せ合い、話し合う。（15分） 【★共有】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「作ったものを見せ合って、ポイントについて感想や意見を伝え合いましょう。」</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; background-color: #e0f0ff;"> <p>ロイロノートで互いの作成物を共有しながら、相手意識をもってアドバイスすることができた。</p> </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">  </div> <p>図5 話し合っている場面</p>	<p>○グループ間の話合いが効率よくできるように意図的にグループの組み合わせを作る。（同じような作成物のグループ同士を組み合わせるなど）</p> <p>○話し合いがスムーズに進むように、話し合いが止まっているようなグループにはポイントをもう一度確認させるなど、支援する。</p> <p>○アドバイスしてもらったことを検討できるよう、自分の作成物（ロイロのシート上）にメモとして残しておくか、ワークシートに書き留めておくよう声をかける。</p>
<p>3 話し合ったことを、グループ内で検討する。（15分） 【★共同編集】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「教えてもらったことを基に、どこをどう直すかグループで検討しよう。」</p> </div> <p>S：この文が長いから、ここで二つに分けるのはどうかな。</p> <p>S：小学生が好きそうな絵を入れたら、親しみやすくなるかもね。どう思う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0; background-color: #e0f0ff;"> <p>アドバイスされたことをグループでよく吟味して、修正するところを考えたことができた。</p> </div>	<p>○よりよい作成物にできるように、意見やアドバイスを参考にしてどのように直すか、グループでよく検討するよう促す。</p> <p>○アドバイスされたことを比較検討できるよう、すぐ直せるところは直してもよいこととする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>★アドバイスをメモしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像の位置を適切にする。 表紙を変える。 ・大事 などのところに線を引く。 ・文をもっと短く。 ・場所を書く。 ・最後にキヤッチコピーを書いておろりにある。 </div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>★アドバイスされたことを検討しよう。直すところをメモしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・画像の枚数を減らす。 ・ふりがなをふる。 ・大切 などのみだけを書いて、短くする。 </div>

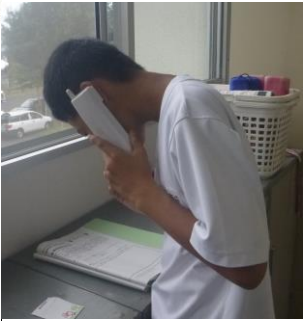


図6 生徒のワークシート

<p>4 グループで検討したことを、全体で共有する。(10分) 【★共有】</p> <p>S : いろいろな方法で、小学生向けにできるのだな。</p> <p>S : アドバイスされたことを生かして、どのグループもよりよいものにしようとしているな。</p>	<p>○グループで検討した結果を、全体で共有できるように発表させ、変更のよさを称賛する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◆評価項目(思)</p> <p>発表や作成物の変更点、ワークシートの記述内容から、「小学生向けの作成物になっているか考え、見直しているか」を評価する。</p> </div>
<p>5 本時のめあての到達度を確認し、次時の見直しをもって本時の振り返りをする。(5分) 【★保存・提出】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><まとめ></p> <p>どうすれば、小学生にもわかりやすいものになるか、検討できた。次の時間は、具体的に直していくこととする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><振り返り></p> <p>S : 別のグループの友達や同じグループの友達と話し合っ、小学生が読みやすくわかりやすい作成物にするために見直す点がよくわかりました。次の時間は、実際に直してよりよい作成物にしていきたいです。</p> </div>	<p>○次時の活動の見直しをもつことができるように、「本時の活動での気づき」や「次時に取り組みたいこと」を、記述するよう促す。</p>

<別紙>

4 指導及び評価、ICT活用の計画(全22時間:本時第17時)

		時	学習活動	知	思	態
つかむ	1~2		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 探究課題と出会い、単元の課題を把握する。 7時間 </div> <p>【探究課題と出会う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リレー講座「利根実業生による研究発表会」「沼田市の歴史」 ・リレー講座を聞いて、沼田市の取組や歴史について知り、もっと知りたいことや調べたいことなどについて考える。(i) 	①		
	3~7		<p>【単元の課題を把握する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「沼田歴史ウォーク」で沼田歴史資料館、沼田公園に出かけ、学芸員やガイドの話を聞く。(ii) <div style="text-align: center;">  <p>沼田の歴史や文化について教えていただき、もっと調べたいことや学んだことを伝えたいという思いがもてた。</p> </div> <p>図7 沼田公園散策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「沼田歴史ウォーク」で学んだことを生かして、沼田のためにできることについて話し合い、単元の課題を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>単元の課題 沼田の歴史や文化を学び、沼田のよさを広めよう</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の課題を基に、単元名を決定する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>単元名 ガイドブックを作って、小学生にプレゼントしよう!</p> </div>	①	①	

追究する①	8	<p>単元の課題に基づき、各グループで課題を設定し、追究する。8時間</p> <p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知りたいことや調べたいことから自分たちに何ができるか考える。 	①	①		
	9 ～ 12	<p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループの課題に沿って、インターネットやパンフレットなどから情報を集める。 ・地域の商店街や史跡等、自分の課題に関連する場所へ出かけ、地域の方にインタビューをしたり、情報を集めたりする。(iii) <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① スイーツ</p> <p>○ かねま</p> <p>★ 各商品</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. かねま大福 2. 季節限定 夏のみ 3. 上生菓子 <p>★ 沼田や上野城へ観光したい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活性化してほしい ・地元のものを使ったものを作りたい。 ・お土産で土産のものを大事にしたい。 ・お土産が買えないから一歩大歩。 ★ 大歩なことばをいえること。 ・ 飾りにする <p>★ 営業時間 9:30～19:30 ※ 沼田名産15分前 で予約可能</p> <p>★ 定休日 火曜日</p> <p>★ 営業時間 9:30～19:30</p> <p>★ 定休日 水曜日</p> <p>★ スイーツを クラブで購入</p> </div>  </div> <p>図8 お店に行きインタビュー 図9 電話でインタビュー</p>	②	②	②	
	13	<p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを、整理・分析する。(あ) 	③	②		
	14 ～ 17	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、どのような表現方法にするか考え、マップや新聞などを作成する。 ・作成したものを、中間発表会で他のグループの友達に見てもらい感想や評価を基に学習成果を見直す。(あ) 	④	③		
追究する②	18	<p>新たな課題を見だし、継続して追究する。4時間</p> <p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間発表会を振り返り、よりよい作成物になるよう考える。(あ) <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの発信方法や工夫を参考にして、効果的な方法を調べる。(あ) ・必要に応じて地域の方と連絡を取り合い、新しい情報や必要な情報を収集する。 <p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを、整理・分析する。(あ) 	①	①	②	
	19 ～ 21	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼田小学校、升形小学校へ配布するガイドブックの作成。(あ) ・(沼田小学校3年生の町探検の際に、本校の1年生が小学生を案内する。) ・(地域の方に、歴史や史跡などを教えてもらい事前リハーサル。)(iii) <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>図10 ガイドブック作成 図11 町探検の案内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沼田小学校や升形小学校に、生徒がガイドブックを渡しに行く。 	③	②	④	③

ま と め る	2 2	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 単元全体の学習の振り返りをする。 1時間 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の振り返りをし、沼田市への思いや自分の成長などについての成果をまとめる。(あ) ・次年度の職場体験学習に向けて、成果と課題をまとめる。 	③		
------------------	-----	---	---	--	--

* 活用する学習支援ソフト等：(あ) ロイロノート

* 活用するコンテンツ等：(a) (b) (c)

* 関わる外部人材等：(i) 利根実業生、元歴史資料館館長

(ii) 歴史資料館学芸員、沼田公園ガイド (iii) 地域の方

7 成果と課題

(1) 成果

【手立て1】

- ・体験学習「沼田歴史ウォーク」を課題設定の場としたことで、もっと詳しく調べたいことややってみてほしいことなどが生徒の中に生まれ、自分事として課題を捉え、設定することができた。
- ・体験学習から課題を設定したことで、生徒の調べたいテーマが広がり、さまざまなテーマで調べ学習を進めることができ、ガイドブックの内容の濃さにもつながった。

【手立て2】

- ・生徒がそれぞれやりたい方法で発信をすることで、作成する際の意欲の継続につながり、進んで工夫しようとする気持ちが生まれた。
- ・小学生に向けたガイドブックの作成を目標にしたことで、相手意識や目的意識が生まれ、よりよいものを作っていこうとする意欲につながった。
- ・町探検の後、小学生からお礼の手紙をもらったことが、生徒の励みにもなり、達成感も感じられた。

【単元全体を通して】

- ・沼田の歴史や文化的な事象に進んで関わり、祭りやその他のイベント、学校で募集したえびす講のボランティアなどに積極的に参加する生徒も多数いた。
- ・生徒の生活記録ノートなどから、沼田のイベントに参加したことを書いてくる生徒も多くなった。

(2) 課題

【手立て1】

- ・生徒の課題意識が高まったことで、やりたいことや表現方法がたくさん出てきてしまい、生徒の思いが強いため、最終的にどのようにまとめるかの話し合いが難しかった。

【手立て2】

- ・インターネットで調べたことを中心に記事を作ったグループもあったが、もっと地域と関わる中で体験したことや生徒が実感したこと、生徒が撮った写真などを中心にガイドブックがまとめられれば本校の1年生らしい独自のガイドブックに仕上がったのではないかと考えられる。

【単元全体を通して】

- ・沼田市で行われるイベントやボランティアなどに興味をもち、主体的に地域と関わろうとする生徒が多くなったと思う反面、まったく興味をもてない生徒もおり、そうした生徒への個別の声かけも必要と感じた。
- ・地域のもの、ことへの関わりは深まったように感じるが、人への関わり（地域の人へ進んで挨拶をする、イベントへ行ったときに話しかけるなど）はまだ薄いように感じるので、交流する回数を増やしていき慣れていくことも大事だと感じた。

1 単元名 「薄根の明るい未来のために」

2 単元の目標及び生徒の実態

単元の目標	職場体験学習で地域の方々と関わったり、東京旅行を通して薄根地区と東京を比較したりする活動を通して、地域の魅力や良さを理解し、見つけた魅力や良さを発信する方法について考え、地域への愛着をもち、地域のもの・人・ことへ主体的に関わることができるようにする。		
生徒の実態	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	社会科の学習を通して、薄根地区を始め、沼田市が人口減少などの課題を抱えていることを理解している。	1年次の学習から、調べたことや体験したことを新聞やスライドにまとめることが得意な生徒も半数程度いる。	体験活動を通して気付いたことを今後の学習に生かそうと考えている生徒が多い。

3 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	① 職場体験学習や東京旅行を通して体験したことや学んだことをもとに薄根地区の魅力や良さに気付いている。 ② 薄根地区の魅力や良さについて理解するために、職場体験学習でのインタビューを効果的に用いている。 ③ 東京と薄根地区の比較をする際、ワークシートを活用し情報を整理・分析している。	① 薄根地区の魅力や良さについて発信の方法を考えている。 ② 発信の方法を実現するために必要な情報を効果的な手段を選択して収集し、蓄積している。 ③ 薄根地区の明るい未来に向けた自分の考えを、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現している。	① 薄根地区の良さや魅力の発信に向けて、他者の考えの良さを認めたり、自分の良さに気付いたりしながら活動に進んで取り組もうとしている。 ② 薄根地区の良さや魅力の発信に向けての活動を行う中で、自分と違う意見や考えのよさを生かしながら、協働して学び合おうとしている。 ③ 自分と薄根地区の人々とのつながりに気付き、自分たちにできることを見付け、薄根地区の未来のために行動しようとしている。

4 指導及び評価、ICT活用の計画（全33時間：本時第26時） ※別紙参照


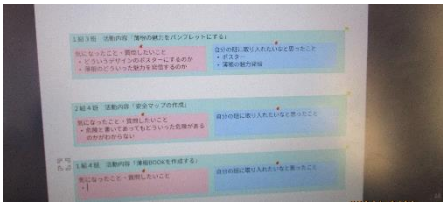
5 探究課題の価値

沼田市は、群馬県北部に位置する人口46000人余りの自然豊かな街であり、その中でも薄根地域は昔ながらの棚田が残るなど田園風景が美しく、さらに樹齢1500年といわれる「薄根の大桑」をはじめ、群馬県重要文化財指定の「薬師如来像」「十二神将像」が納められている「追母薬師堂」があるなど自然・文化ともに魅力ある地域である。一方で昨今の「高齢化」「過疎化」の影響を受けている地域でもあり、毎年行事として実施される「地域のお年寄りへの花配り活動」では、各地区の生徒の数は年々減少しているにもかかわらず、花を渡すお年寄りの数は増加しており、生徒たちも「高齢化」や「過疎化」が進行していることを実感している。本課題は、職場体験・東京旅行といった体験学習をもとに、地域の魅力や良さについて改めて認識し、それらを外部に向けて発信することで地域の未来のために役立ちたいという思いを育むことのできる課題である。本課題を通して生徒たちが学んだことや感じたことが彼ら自身の地域への愛着へとつながり、将来にわたって積極的に地域のもの・人・ことにかかわろうとする気持ち、いわゆる「郷土愛」をもつきっかけとなるのではないかと考える。

なお、次年度には今年度の活動をさらに広げる形で「ふるさと薄根活性化計画」に取り組むこととなっており、継続的・系統的に取り組むことのできる探究課題である。

6 授業の実際 (26/33)

- (1) **ねらい** よりよい活動計画にするための話し合いを通して、今後の活動に見通しをもつとともに薄根地区の明るい未来に向けた自分の考えを、相手や目的に応じて、より分かりやすくまとめ、表現することができるようにする。
- (2) **展開** 【★ICT活用に関する事項】

主な学習活動 予想される生徒の意識〔S〕	○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。(5分)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><めあて> お互いの活動をより良くするために、アドバイスし合おう。</p> </div> <p>S：他の班には見せたことがないから不安だな。 S：相手に伝わりやすくなっているかな。</p>	<p>○前時の学習の振り返り、ワークシートを見返すよう促す。 ○めあてを生徒たちから引き出せるよう、「それで完成で本当に大丈夫?」「心配じゃない?」など問いかける。 ○時間を効率よく使えるように、グループになるよう指示する。</p>
<p>2 各班で計画書を確認し進捗状況を確認する。(5分)</p> <p>S：チラシの案、AとBどちらがいいかな。 S：活動計画書がまだ完成していない。準備する物がイメージ出来ない。</p>	<p>○工夫した点・悩んでいる点などが整理できるように、ワークシートを準備し、配布する。【★提示・配布】 ○効率よく整理ができるように、ワークシートはロイロノート上で送信する。</p>
<p>3 情報共有用の班で集まり、お互いの活動についてアドバイスを送り合う。(15分)</p> <p>S：○○に張り出したいのならもう少し大きいポスターのほうが良いのではないかな。 S：2枚目と3枚目のスライドは1枚にできそう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>互いの活動についてアドバイスすることができた。</p> </div> <div style="text-align: center;">  </div> <p>図12 話し合っている様子</p>	<p>○情報共有が円滑に進められるよう各班の机の上に流れを書いた紙を置いておく。 ○様々な視点から改善点を考えられるように、アドバイスだけでなく各班の良い点や真似できる点も探すよう促す。 ○効率よく進めることができるように、一人につき2分の時間制限を設ける。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>図13 生徒のワークシート</p>
<p>4 各班で、活動計画や成果物をどのように改善するか検討し、ワークシートにまとめる。(20分) 【★共同編集】</p> <p>S：もらったアドバイスを基にさらに改善しよう。 S：○班の工夫は自分の活動にも取り入れよう。</p>	<p>○検討しやすくなるように、どのアドバイスを生かすか、他の人のどこを真似するかなど、視点を与える。 ○検討結果を送信できるように、ロイロノートを活用する。</p>

情報共有でもらったアドバイスをもとに改善方法を検討することができた。



図14 話し合っている様子

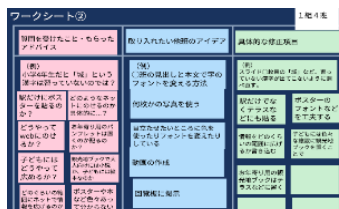


図15 生徒のワークシート

<まとめ>

友達からのアドバイスをもとに、自分の班の今後の活動計画や成果物をどのように改善するかについて検討できた。次回以降は、検討したことをもとに実際に修正していく活動をしたい。

◆評価項目（思）

ワークシートの記述内容から、「他者からのアドバイスを生かし、より伝わりやすくなるような改善案を考えているか」を評価する。

5 本時のめあての到達度を確認し、次時の見通しをもって本時の振り返りをする。（5分）


○いくつかの活動班の検討結果を全体共有する。 【★共有】

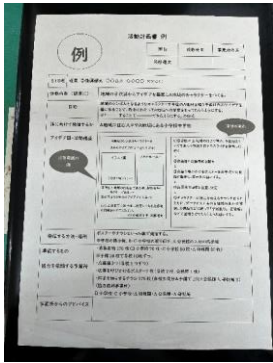
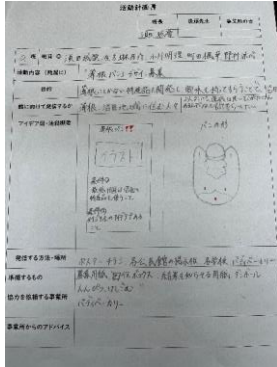


<振り返り>

S：自分たちの工夫したところが相手に伝わってよかったです。友達からのアドバイスで、自分だけでは気付けなかったことに気付くことができました。アドバイスを基にさらに改善していきたいです。

<別紙>

4 指導及び評価、ICT活用の計画（全33時間：本時第26時）

時	学習活動	知	思	態
つかむ 1~20	<p>探究課題と出会い、単元の課題を把握する。 20時間</p> <p>【探究課題と出会う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職場体験学習に行く。（i） 	① ② ③	②	
	<p>・ 職場体験学習の中でインタビューを実施する。（i）</p> <p>・ 職場体験学習で学んだことをスライドにまとめ、発表する。（ii）</p>			
	<p> 図16 職場体験の様子</p> <p> 図17 職場体験の様子</p>			
	<p> 図18 発表会の様子</p> <p> 図19 生徒が作成したスライド</p>			
	<p>・ 東京旅行の事前学習で薄根地区と東京を比較する。（あ）</p> <p>単元の課題 薄根地区の魅力や良さを発信しよう</p>			

		<ul style="list-style-type: none"> ・東京旅行の中でチラシや広告を写真に撮ってくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 単元名 薄根の明るい未来のために </div>			
追究する①	21・22	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 単元の課題に基づき、各グループで課題を設定し、追究する。6時間 </div> 【課題の設定】 <ul style="list-style-type: none"> ・薄根地区の明るい未来のためにできる活動を考える。(あ) 			①
	23	【情報の収集】 <ul style="list-style-type: none"> ・各班「つかむ」過程で蓄積した情報を集める。(あ) (い) 			③
	24・25	【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報を基にポスターやスライドの計画書を作成する。(い) (う) <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">   </div>	②	③	②
	26	【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・作成した計画書についてアドバイスし合う。(あ) 			③
	27	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> 新たな課題を見だし、継続して追究する。6時間 </div> 【課題の設定】 <ul style="list-style-type: none"> ・成果物を具体的に発信する方法について考える。(あ) 			①
追究する②	28	【情報の収集】 <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域・生活や東京旅行での東京の様子を参考に、効果的な方法を調べる。 			② ②
	29・30	【整理・分析】 <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを整理・分析する。(う) ・必要に応じて地域の人に交渉し、発信できる場を設ける。(い) 			③ ③
	31・32	【まとめ・表現】 <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとに発信方法を選択し、発信する。(う)・(い) <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;">  <div style="text-align: center;">  </div> </div>			③ ③
		<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> 図22 生徒の作成物 図23 生徒の作成物 </div>			

ま と め る	33	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 単元全体の学習の振り返りをする。 1時間 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の振り返りをし、次年度のふるさと薄根活性化計画に向けて、成果と課題をまとめる。(い) 			③
------------------	----	--	--	--	---

* 活用する学習支援ソフト等：(あ) ロイロノート (い) グーグルスライド (う) Canva

* 活用するコンテンツ等：(a) (b) (c)

* 関わる外部人材等：(i) 地域の方々

7 成果と課題

(1) 成果

【手立て1】

- ・情報収集の場面では、職場体験の中でインタビューを実施したことで、生徒たちは地域の魅力や課題について地域をよく知る方たちの視点から情報を集めることができていた。
- ・インタビューで分かったことや感じたことなどをスライドや感想用紙にもまとめさせ、課題設定へと繋げることができた。

【手立て2】

- ・職場体験先や地域の人と関わる場면을複数回設定することで、課題解決的な学習を繰り返すことができた。
- ・情報発信に向けて計画書を作成させ、「発信相手」やそれに適した「発信方法」を生徒たちに考えさせることで、新聞やスライドといった従来の方法にとらわれず、それぞれの活動目的や発信相手に適した発信方法を選択することができた。

【単元全体を通して】

- ・生徒たちが課題解決に向け、前向きに取り組む姿勢が随所に見られた。「薄根の魅力や良さ」をテーマに、年間を通して様々な場面で意図的に感想や振り返りを書かせ、意識付けをさせたことで課題意識や地域へ貢献したいという気持ちが生まれ、生徒たちの前向きな姿勢に繋がったと考えられる。
- ・紙媒体だけでなく、Googleスライド・Canva・ロイロノートなど、複数の種類のアプリケーションを使用したことで、生徒たちのICT活用の幅が広がった。生徒は目的や使いやすさによって、まとめや発信の手段を選び活動することができていた。

(2) 課題

【手立て1】

- ・活動が職場体験→東京旅行→成果物作成の順であったため、職場体験との連携意識が希薄になっていた。
- ・体験活動ごとに班編制を変えてしまったため、一つの視点について1年間を通して深めることができなかった。

【手立て2】

- ・地域の方と複数回関わる機会として、電話連絡の場を設定することはできたが、直接会って話す機会を作れなかったため、お互いの意図が伝わりづらい場面が多々あった。
- ・活動が多岐にわたりすぎており、進捗状況の管理がしきれず、結果として目的からずれる班があった。

【単元全体を通して】

- ・生徒に「相手意識」をもたせるための手立ての工夫がさらに必要である。地域の方と複数回関わる中で、その困り感に寄り添える活動を生徒が計画できるよう、インタビュー内容の精選や地域の方との打ち合わせを充実させる必要があると感じた。
- ・生徒の「地域に貢献したい」「こういう活動をしたい」という気持ちも大切だが、単なる押しつけとならないように留意する必要がある。

1 単元名 「沼田市のために2-Aの力で役に立て！」

2 単元の目標及び生徒の実態

単元の目標	自分たちが住む地域の魅力や課題について調べ、地域のよさや課題、自分たちとの関わりについて考えるとともに、地域の職業を体験する活動を通して、地域の特徴や地域の職業に携わる人々の思いに気付き、沼田市のためにできることを考え行動しようとするを通して、生徒が地域に愛着をもち、地域のもの・人・ことに主体的に関わることができるようにする。		
生徒の実態	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	地域の魅力や課題に関して深く考える機会が今までではなく、地域の魅力や職業に関しての具体的な知識がある生徒は少ない。	スライドや新聞などにまとめることができるが、その他の表現方法は行っていない。情報を整理して考えることが苦手な生徒もいる。	地域の行事に参加している生徒は少数で、地域のものや人、ことと主体的に深く関わろうとする生徒も少ない。

3 評価規準

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①地域のための様々な取組と、地域の職業に携わる人々の思いや願いがあることを理解している。 ②地域の魅力や人々の思いや願いをつかむために、目的に応じて調べたりインタビューしたりして情報を収集している。 ③地域の活性化につながることを理解は、地域の課題や魅力について探究的に学習してきたことの成果であることに気付いている。	①よりよい沼田市にするために、沼田市の現状について調べたり、他の都市と比較したりする活動から課題を見だし、見通しをもって計画を立てている。 ②課題の解決に必要な情報を、効果的な手段を選択して多様に収集し、種類に合わせて蓄積している。 ③課題解決に向けて、各教科の学びを生かしながら情報の特徴に応じて整理し、比較や関連付けをしている。 ④各教科の学びを生かしながら相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現している。	①課題解決に向け、自分の特徴やよさに気付き、探究活動に進んで取り組もうとしている。 ②地域の活性化のために、体験活動を通して、他者の考えを生かしながら、協働して問題解決に取り組もうとしている。 ③地域との関わり中で自己の生き方を考え、自分にできることを見付けようとしている。

4 指導及び評価、ICT活用の計画（全45時間：本時第24時） ※別紙参照

5 探究課題の価値

沼田市は群馬県北部に位置し、日本百名山に選ばれる山々に囲まれる、自然環境が特徴の都市である。その特徴を生かした、スキー場やゴルフ場、果樹園、温泉といった観光資源が豊富な都市である。しかし近年、少子高齢化や人口減少が進行している現状があり、豊かな地域資源を活用した地域の活性化が必要不可欠である。本校の生徒は、「沼田や地域のことは好きだがよく知らない」「調べたり教わったりしないと分からない」「沼田市のよさをどう伝えてよいか分からない」など沼田市の魅力について深く考えたり、調べたり、話し合ったりする機会が少ない。そこで、本単元を通して、地域をフィールドとした職場体験活動から、地域と協働し、地域の特徴や地域の職業に携わる人々の思いに気付き、地域のためにできることを考え行動しようとする中で、地域に愛着をもち、地域のもの・人・ことに主体的に関わろうとする心を育むことができると考えた。

6 授業の実際

(1) ねらい 職場体験学習から得た情報を共有し、話し合う活動を通して、グループで新たな気付きや発見から、追究していく課題を見直すことができるようにする。

(2) 展開

【★ICT活用に関する事項】

<p>主な学習活動 予想される生徒の意識〔S〕</p>	<p>○指導上の留意点 ◆評価項目（観点）</p>
<p>1 前時の学習を振り返り、めあてをつかむ。 (5分) 【★提示・配付】</p> <p><めあて> 職場体験学習を終えて、発見したことや気付いたことを共有し、課題を見直そう。</p>	<p>○職場体験前に考えていた課題を振り返らせる。また、前時までにまとめた内容を確認し、話し合いがスムーズに行えるようにする。</p>
<p>2 職場体験にてインタビューしたことや気付いたことを共有する。 (10分) 【★共同編集】</p> <p>S：同じテーマだけど、事業所によって課題が違うな。参考してみよう。 S：このグループとインタビューの内容が重なるところがあるな。一緒に考えてみようかな。</p>	<p>○同じ分野を選んでいるグループで班を作り（5グループ）、職場体験にてインタビューした内容や気付いたことを共有できるように、発表させる。 ○課題の見直しに必要な情報を探るために、他のグループの意見を参考にするように、助言する。 ○聴くだけではなく、質問をしたりアドバイスをしたりするように促す。</p>
<p>3 グループに分かれ、解決を目指す課題の見直しをする。 (20分) 【★共同編集】</p> <p>S：事業所の方は、こんなことに困っていたのか。自分たちが体験する前に考えていたこととは少し違うな。 S：事業所の方はこんなことに困っていたけど、沼田市全体ではどうなっているんだろう。調べてみよう。 S：新たな課題について、もっと情報を収集していかなければならないな。</p>	<p>○職場体験前に考えていた課題と、体験して感じたことや、インタビューをして分かったことを比較して考えさせる。 ○インタビューの内容や気になったことを調べながら、根拠となる情報を収集するように促す。 ○なぜこの課題設定を行ったのかの理由や根拠を明確にさせる。 ○シンキングツール（クラゲチャート）を活用し、新たに設定した課題とその根拠となる情報を明確にするように促す。</p>

図24 課題の変容例①（学習カード）

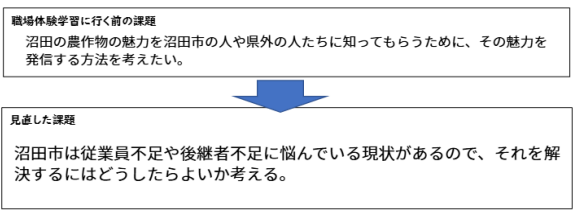
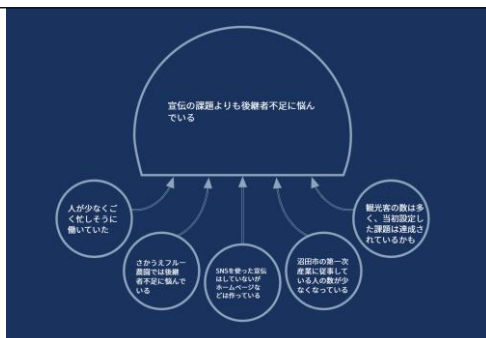


図25 再設定した課題とその根拠となる情報



<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>図26 課題の変容例② (学習カード)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>職場体験学習に行く前の課題 沼田だけの食品があるのを知ってみたい</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>見直した課題 沼田だけの食品があるのを地域の人にもっと知ってみたい</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>図27 課題の変容例③ (学習カード)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>職場体験学習に行く前の課題 観光客を増やすために、ローカルフードや観光地について宣伝活動をした</p> </div> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>見直した課題 沼田市を目的として来てくれる観光客を増やすためにはどうしたらよいか</p> </div>	<p>○円滑にグループ内での話し合いが進むようにするために、教師（T2、T3も含む）がグループを回りながら生徒の学びをコーディネートする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>◆評価項目（思） 話し合いやワークシートの記述内容から、「職場体験学習や他のグループから得た情報を基に、追究していく課題を見直すことができたか。」を評価する。</p> </div>
<p>4 グループで検討したことを、全体に共有する。（10分）【★一覧表示】 S：このグループは、こんな課題設定をしたのか。参考にしてみよう。 S：このグループと同じ課題だな。一緒に考えてみようかな。</p>	<p>○職場体験前に設定していた課題と、新たに設定した課題を発表する。なぜこの課題設定を行ったのか理由を発表させる。 ○今後の情報収集で、協力していけそうなグループを探せるように、話をよく聴くように促す。</p>
<p>5 本時のめあての到達度を確認し、次時の見通しをもって本時の振り返りをする。（5分）</p>	<p>○次時の見通しをもつために、次時に取り組みたいことや、修正したいこと等を記述するように促す。</p>
<p><振り返り> S：グループの仲間と職場体験から得た情報を基に課題を見直すことができた。次時では、その課題を解決するために必要な情報を集めていきたい。</p>	

<別紙>

4 指導及び評価、ICT活用の計画（全45時間：本時第24時）

時	学習活動	知	思	態
つ か む 1 ～ 10	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>探究課題と出会い、単元の課題を把握する。 10時間</p> </div> <p>【探究課題と出会う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京旅行から、東京都と沼田市を比較し、沼田市の魅力や課題について考える。（あ）（い） ・生徒を対象にアンケートを実施し、生徒が沼田市についてどう思っているのか、自分が地域とどれくらい関わっているのかを調査する。（う） ・地域の方に講習会を行ってもらい、地域の大人が考える沼田市や白沢町の魅力や課題を知る。（い） <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block; margin-top: 10px;"> <p>地域の方からの講習を聞く様子。</p> </div> </div>	① ②	①	③

図28 講習会の様子


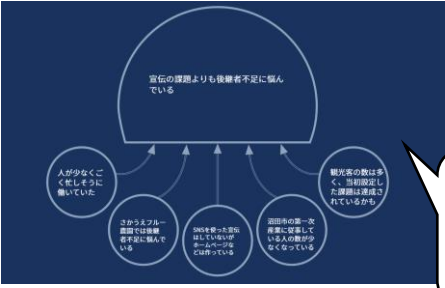
		<p>単元の課題 沼田市のよさや魅力を、職業の視点から伸ばしていこう。</p> <p>・自分が伸ばしていきたい、テーマを考える。(あ)</p> <p>単元名 沼田市や地域のために2-Aの力で役に立て!</p>										
<p>追究する①</p> <p>11 ~ 23</p>		<p>単元の課題に基づき、各グループで課題を設定し、追究する。33時間</p> <p>【課題の設定①】</p> <p>・自分が追究していきたいテーマをもっとよくしていくためには、どんなことに取り組む必要があるか、課題を設定する。</p>	①	①	② ③							
		<p>【情報の収集】</p> <p>・追究していくテーマについて知る。 (どんな魅力があるのか。どんなことが課題なのか。)</p> <p>・ホームページや資料から情報を集め、課題設定の根拠を明確にする。</p> <p>・職場体験先の情報を収集し、体験先について知り、魅力や課題を考える。</p>	②	②	②							
		<p>【整理・分析】</p> <p>・インタビューの内容を考える。</p> <p>・課題解決に迫れるようなインタビュー内容になっているか、分析をする。</p>	①	③								
		<p>【情報の収集】</p> <p>○職場体験にて情報収集を行う。</p> <p>・職場体験学習にて、事業所の方へのインタビューから、事業所の方の思いや願い等、情報を集める。(ii)</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>収集した情報をまとめよう(職場体験学習について発見したこと・インタビューしたこと)</p> <table border="1"> <tr> <td>「どこから」</td> <td>「何曜日」</td> </tr> <tr> <td>案内員</td> <td>1日目</td> </tr> <tr> <td>乗車 12 (5つは観光バス)</td> <td>2日目</td> </tr> <tr> <td>乗車 1 (徒歩)</td> <td>リポーター</td> </tr> </table> <p>Qなぜここに新しく店を建てたのか A家の途中はお客さんが入りづらい</p> <p>Q1番観光客が来る時期とその理由 A6月(さくらんぼ)10月(りんご)→一般のお客さんが入</p> <p>Q観光客の人数や客層の変化とその理由 Aだんだん増えている。若い人に人気。テレビや芸能人も増えた</p> <p>Qコロナの時期、年配の方におさまっていくと</p> <p>Qオリジナル商品の人気度とおすめポイント A主に枝豆豆腐やお好み焼き厚揚げなどが人気。毎年新商品を出している。(来年は漬物まんじゅうに挑戦)</p> <p>Qどのように宣伝を行っているか A宣伝活動はあまり行っていない→来る人のほとんどは他の人の口コミ(レポ)や友だちの紹介から見つくれた</p> </div> </div>	「どこから」	「何曜日」	案内員	1日目	乗車 12 (5つは観光バス)	2日目	乗車 1 (徒歩)	リポーター	②	②
「どこから」	「何曜日」											
案内員	1日目											
乗車 12 (5つは観光バス)	2日目											
乗車 1 (徒歩)	リポーター											
		<p>【課題の設定②】</p> <p>○職場体験学習を経て、グループの課題を見直す。(あ)(ii)</p> <p>・職場体験前に考えていた課題と、体験して感じたことや、インタビューをして分かったことを比較して考え、課題を再設定する。</p> <p>・課題設定を行った理由や根拠を明確にする。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>職場体験学習に行く前の課題</p> <p>沼田の農作物の魅力や沼田市の人や県外の人たちに知ってもらうために、その魅力を発信する方法を考えたい。</p> <p>↓</p> <p>見直した課題</p> <p>沼田市は従業員不足や後継者不足に悩んでいる現状があるので、それを解決するにはどうしたらよいか考える。</p> </div> </div>	②	①								
<p>追究する②</p> <p>24 ~ 30</p>		<p>【情報の収集】</p> <p>・職場体験学習でのインタビューや自分が感じたことや仲間が感じたことの情報共有する。また、同じテーマで調べているグループごとに集めた情報を共有する。(あ)</p> <p>・課題に対して、解決していくための取組を調べる。</p> <p>・事業所の方や地域の方と関わりながらどんなことが地域社会に求</p>	①	② ③	②							

図30 職場体験にてインタビューを行い、得た情報

図31 職場体験でのインタビューや集めた情報を基に課題を再設定。シンキングツールを用いて、課題とその根拠となる情報をまとめた。

	<p>められているのかを電話でのインタビューやアンケートを実施し、情報を収集する。(あ) (ii)</p>			
3 1 ～ 3 3	<p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べた情報を分かりやすく整理・分析し、課題の要因について考える。(あ) ・整理・分析したものが課題解決に迫るものになっているかを検討する。(あ) 		③	
3 4 ～ 4 3	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域貢献につながる取組をまとめ、地域に発信する。(あ) ・年間の取組をスライドやポスターにまとめる。(あ) (い) ・発表会を行い、学校運営協議会の委員や職場体験の事業所の方を招待し、発表する。(あ) (い) (i) (ii) (iii) 		④	
ま と め る	<p>4 4 ～ 4 5</p> <p style="text-align: center;">単元全体の学習の振り返りをする。 2時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の振り返りをし、自己の生き方について考え方が変わったことや成果をまとめる。(あ) ・次年度に向け、新たな課題を設定する。(あ) 		③	

* 活用する学習支援ソフト等：(あ) ロイロノート (い) Googleスライド
(う) Googleフォーム

* 関わる外部人材等：(i) 地域の方 (ii) 職場体験の事業所の方 (iii) 学校運営協議会

7 成果と課題

(1) 成果

【手立て1】

- ・体験学習前と体験学習後に課題設定したことで、より具体的な課題設定や課題設定の見直しに繋げることができた。また、課題発見のために職場体験学習の中で情報収集を行い、ただの体験活動で終わらず、より興味をもち体験活動に臨み、深い体験学習を行うことに繋がった。

【手立て2】

- ・体験学習後も電話でのインタビューやアンケートを行い、地域の方とのやりとりを繰り返しながら貢献物や貢献活動ができた。

【単元全体を通して】

- ・ぬまた未来創造学を通して、地域の方と繰り返し関わりながら貢献物を作成したことで、生徒の郷土愛の向上に繋がったと感じた。中には職場体験学習後も家族や友達を連れて、お世話になった事業所を訪問している生徒がいたり、他の地場産物に興味をもち、買い物に出か

けたりしている生徒がいた。

- ・年間を通して「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」を様々な場面で設定し、繰り返し行ったことで、生徒が学習に見通しをもって取り組むことができた。また、学習の流れを掴むことができたり、探究的な学習に繋がったりした。

(2) 課題

【手立て1】

- ・職場体験先の事業所によっては、課題を発見することが難しいと感じる生徒がいた。
- ・課題設定が明確に行えていないグループは、その後の活動が充実しなかった。そのため、課題設定を行う前にも十分な情報収集が必要であると感じた。
- ・生徒の興味がある課題を追究することで、課題を自分事としてとらえることができ、より探究的な学習になると感じた。生徒が興味のない課題だと、課題を深く追究するモチベーションを保つことが難しかった。

【手立て2】

- ・繁忙期等も重なり、インタビューが実施できない事業所もあった。
- ・より多くの人目の届くように発信することが難しかった。

【単元全体を通して】

- ・学校と地域が協働となり、生徒の地域愛を育み、自己の生き方を見つめることができる本研究では、地域の方の理解や協力が必要不可欠である。そのため、より多くの地域の方や事業所からの協力を得るには、学校側の発信方法も見直していく必要があると感じた。地域の人と一緒にどうすれば沼田市がよくなっていくのかを考えていくことが、協働的でより深い探究になると感じた。